

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



埼玉県勤労者山岳連盟 理事長 武笠真次

健康で、明るく、元気ある一年に

埼玉労山会員の皆様にはご家族皆様とともに清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。併せて旧年中のご愛顧に心から感謝申し上げます。

2013年を表す漢字に私は「感謝」を選びました。

日本の言葉に素晴らしい言葉があります。それは「どうもありがとう」です。心が「和む」からだと思います。今の世の中で権利を主張することは有っても義務が伴わずにいる事が多いのは事実です。感謝の気持ちを忘れずに有難うと素直になれる自分でありたいと願います。

中高年登山者の増加に伴い、山行中の心筋梗塞など病気による突然死などが増えています。

「明るく、楽しく、安全に」をモットーに好きな山に登り続けるためには日頃から医師によるメディカルチェックを受け自身の健康状態を知ることが最善です。会山行でパーティを組む場合には、持病を計画書に盛り込むことも大切であろうと察します。

今年度も救助隊による訓練(机上・実技)を通じて山のピンチから抜け出るために、セルフレスキューとチームレスキューを学び、登山学校を通じて自分の安全登山のチェックをして山の無事故・無災害をめざします。

「安全登山をめざすための計画から下山まで」。計画段階からの遭難などは山仲間として普段からのコミュニケーション(人間関係の形成)で相談や十分な話し合いを行い、綿密な調査・準備をして計画書の立案をする。計画書の無届け山行の撲滅や下山報告をきちんとする習慣、下山遅れが発生した場合は会のなかでなぜ? 下山遅れが発生したのか検討会を設置して頂き、原因は何か、対策はどうするかなど話し合って頂ければ幸いです。山行中、ロケーションの良い場所に出たら、会に現在の時刻、通過地点など携帯メール等を利用して連絡して置くのも手かもしれません。GPS機能があれば緯度、経度なども知らせて置く等、会の山行部会や運営委員会等でチェック方法を検討することも必要かと存じます。登山計画書のフォーマットに提出日と受理日を記載されているか、地図(ルート図)が添付されているか等のチェックが「新特別基金交付申請」時に重要です。

「埼玉労山の年はじめ仕事」

1月27日(日)午前、遭難防止・安全教育担当者会議でヒヤリハット事例の検討、労山サポートシステムの活用について、会で経験した事故事例につて、情報の共有をはかる。

1月27日(日)午後、評議会。議題内容について事前に貴会内で討議頂き意見を持って、ご出席下さい。また、ブロック会議では、事前に議長(南部・北部)、書記(西部・中部)の人選をして頂き、担当して頂く方の承諾をお願いします。

「46期総会をめざして」議題 a.2012年県連活動報告・専門委員会報告 b.2013年活動方針(案)・専門委員会活動方針(案)c.総会代議員定数確認 d.全国連盟第30回臨時の議題・第1号議案・第2号議案(総会への要望(個人会員制度など)e.その他報告事項

皆の埼玉労山ホームページの更新・・・ぜひとも会員みなさまから積極的な参加型のホームページの実現を。

評議会や総会に向けての準備 今後も山の積極的な推進のため、専門委員会など諸活動を継続発展させましょう。理事会を代表し、埼玉労山会員の声を反映し、全力で奮闘することを誓い、明るく、元気のある一年を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。